日伯新聞

Sr. Kobayashi
R. Galvão Bueno 407

伯國聖市マエストロ・カルヂン街二〇九
ヴエルゲイロ街(二五八)
發行所日伯新聞社
本紙定價年九ミル
外國郵税共百ミル

瑞昌を完全占領

酷熱下、頑敵を撃破し 皇軍、猛然城内に突入

敵の武漢防衛線又も崩壞

(上海二十五日同盟)中支軍發表によれば九江方面より西進し瑞昌攻略に任ずる我が部隊は百四十度の炎熱を冒しつゝ頑強なる敵の抵抗を撃破二十四日午後五時遂に瑞昌を占領せり

(瑞昌二十四日同盟)平田、石本、中島、松田の諸部隊は頑強に抵抗する敵を撃破し二十四日午後一齊に瑞昌城外に殺到、遂に午後五時先鋒部隊は東門を破り雪崩を打つて城内に突入城壁高く日章旗を飜した、後續部隊も續々入城し目下城内の殘敵を掃蕩中

(瑞昌二十五日同盟)二十四日夕刻瑞昌に突入した平田部隊の一部は敗走する敵を急追して同夜半城外西方四粁の郎君山を占領した

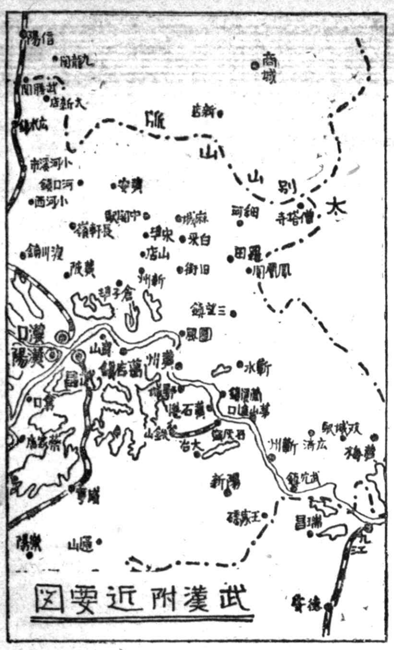
激闘實に十數時間 城壁に敵死體累々

防衛據點を完全制壓

【上海廿五日同盟】武漢三鎭を目指して九江より西進中の我石本、平田、中島、山田、秋富、石川、武滿、田中、原田、長野各部隊は酷暑未だ去りやらぬ中支の炎熱下に猛進撃を續け、遂に十四日午後五時敵の重要據點たる瑞昌を占領城頭高く日章旗を飜へした瑞昌の防備に當つた敵は孫道錢の第十二軍團、李覺の第十七軍團、霍揆彰の第五十四軍貴州軍の一部であるが北方赤湖と常紋湖の間に起伏する山嶽地帶を突破進撃中の我軍の猛攻を支へ切れず散を亂して西方に潰走するに至つた

【瑞昌二十四日同盟】二十三日瑞昌を眼下に見下す敵重要據點高地を占據した石本部隊と呼應して敵の左翼に進出した平田部隊は二十四日拂曉より瑞昌縣城に向け猛撃を開始した、敵は城内の松林内に築いた數段の陣地により頑強に抵抗したり、我が砲兵はこの敵陣地を奪取せんと殺到果敢なる突撃を敢行、その度毎に猛烈な追撃戰が演ぜられた、敵兵は二回に亘り手榴彈を投擲しながら逆襲し來り死者狂ひの抵抗を試みた、之がため僅か二十キロの距離に肉迫し乍ら突入まで十數時間を要する激戰であつた、城壁の周圍には敵中隊長以下無數の死體が累々として轉がり物凄い激戰の跡を生々しく物語つてゐる

【九江二十五日同盟】廿二日未明攻撃前進開始以來二十四日午後五時瑞昌攻略に至る陸軍南岸部隊の果敢なる猛進撃と海軍航空隊の協力により九江以西の敵第一線陣地は脆くも撃破され、敵が大軍を集結して死守を企圖する一大據點武穴對岸馬頭鎭と瑞昌を結ぶ線は完全に我の確保するところとなつた、これによつて通江嶺、稠林磯砲臺を主陣とする高地上の敵野戰重砲陣地は全く死命を制せられて〇〇部隊の〇〇への進出は愈々有利に展開昨夕早くも〇〇の東南方〇キロに進撃し戰果は著しく擴大された、かくて敵が武漢防衛の重點と恃んだ前線陣地は早くも栖の半分を失ひ防衛に全力を傾けて頑守せんとする〇〇要塞の戰略的價値は將に半減して長江の南北岸による數十ケ師の敵大軍團は早くも大動搖の色を見せてゐる



武漢附近要図

皇軍の行動 宛ら疾風

桃溪鎭から猛進

【香港二十四日同盟】支那側報道によれば我が有力部隊は二十三日安徽省魯州西南方約四十キロの桃溪鎭から行動を起し西北方山南館に向つて猛然進撃を開始した、これがため六安及び西南方の霍山方面の支那軍は俄に緊張しはじめた

海軍機今度は 宜昌を空襲

【上海二十四日同盟】海軍航空隊は二十四日宜昌を空襲、飛行場、附屬格納庫、倉庫群に對し殲滅的爆撃をなした

九江附近の逃亡兵 皇協維新隊を組織

打倒蔣政權に活躍

【九江廿四日同盟】打倒蔣政權のスローガンのもとに九江附近の良民逃亡兵等によつて組織された皇協維新隊は隊長馮江濤指揮のもとに二十三日午後一時九江を進發、廬山に巣喰ふ敗殘兵の掃蕩を開始し同日夕刻既に敵監視所數ケ所を占領し廿四日朝來尙山腹を縫つて進撃を續けてゐる

國共の反目 益々熾烈

左翼紙暴令

【香港廿五日同盟】武漢存亡の危機迫ると共に漢口の共產黨が漸次その毒牙を現はさんとするに對し、武漢防衛總司令陳誠は民族解放先鋒隊、青年救國團及び蟻社の共產黨三團體に解散を命じたが、これに對し漢口の共產黨機關紙新華日報は八月二十一日の社説で、武漢防衛にあたり民衆を動員してこれが防衛に當らねばならぬ際、衛戍總司令部は民衆の基礎を搖がし各團體に對し解散の暴令を發した、國內一致して武漢防衛に當るべき秋に際し斯くの如き暴令は實に不滿に堪へぬものがあると反憾を述べてゐる

中國航空公司の ダグラス機不時着

宋慶齡等消息不明

【香港二十五日同盟】中國航空公司のダグラス機は乘客支那人十五名乘せて二十四日午前八時香港景德飛行場を出發漢口に向つたが、同日午前八時二十五分廣東省中山縣に不時着、乘客中に死傷十二名を出した、乘客中には浙江財閥の巨頭たる上海浙江興業銀行宋慶齡、胡筆江があつたが消息不明、なほ支那側では該ダグラス機は香港出發後日本軍飛行機と遭遇機關銃射撃を浴び不時着したと稱してゐる

外力支援の如何が 蔣の長期抗戰を決す

西南工作は殆んど泥繩式

【東京二十五日同盟】二十五日の東京朝日は「西南の地と英米」と題し次の如く述べた、

漢口の陷落迫り西南に逃げ込む蔣政權は政治的經濟的にも又軍事的にも地方的存在となることは間違ひないが、今後の重要性は西南の持つ經濟力と外力支援の程度如何といふことでこれが蔣政權をしてなほも長期抗戰を可能ならしめるや否やを決定するだらう、奥地農村は多年の疲弊によつて慢性的恐慌狀態を呈し玆に近代的工業を整備するには巨億の費用を要し一に外力に俟たねばならない、蔣政權は奥地工業の振興と合作者を通じて低利資金による生產增加に重點をおいてゐるようだ、總て未發達の環境を足場とし而も泥繩式の施設で急場の間に合ひそうにもない、玆に蔣政權は目的のため手段を選ばず幾多の利權を好餌として外力に縋らんとし英佛も亦蔣援助を露骨化せんとする態勢に我は警戒を要する

外交部長に陳友仁 親ソ內閣の出現?

孫科の動向頗る重視

【香港二十五日同盟】孫科は二十四日午前九時漢口到着午後蔣介石と會見した、孫科が果して噂の如く行政委員長に就任するか否か、若しこれが實現するとなれば陳友仁の外交部長も有力となり極端な親ソ內閣となること明であるから孫科今後の動向は頗る注目される

ソ聯の援蔣積極化 指導員を續々派遣

軍需品注文には悲鳴

【ワルソー廿四日同盟】廿四日ワルソーに達した確實な情報によるとソ政府は對蔣介石援助のため、自國で訓練し、前線に派遣した支那軍將校及び軍事指導者の總數は七月以降だけで既に一千二百名といふ莫大な數に上り、現在尙七百名の支那將校が全國十八ケ所の駐屯軍に配備され猛訓練を續けつゝあり中三百五十名は飛行機の操縱訓練をうけてゐると云はれる、一方國民政府は最近レニングラード工場にタンク、高射砲の大量注文を發したが同工場では自國の本年度軍備擴充で手一杯のため生產能率を二倍にしても今後十一月以內には到底この注文に應じ切れないと云はれるから武器の對支輸出は目下のところ大したことはあるまいと豫想される

わが肅清下の 山西點描

山陰に蠢めく敗殘兵 超炎熱に警備の苦勞

住民心から皇軍に感謝

【臨汾發】山西における皇軍の活躍を見るべく石家莊から正太鐵道を走る軍用列車に便乘し山西に入つた、皇軍がかつて十余日の猛攻を續けてつて攻略した娘子關の嶮を越える今では一日一回太原までの旅客列車が通つてゐる娘子關では〇〇隊守備といふ立札がもう立派に驛に名勝案內然と立つてをり、記念スタンプも出來上つてゐる、正太線は幅一メートルといふわが國のどこにもない狹軌鐵道だ、われわれを乘せて走つて行く機關車はチヤントとわが國の有名な會社のマークが入つた純國產である、輸次から分れてわれ〳〵を山西南部へ運ぶ同蒲鐵道も同じ幅で、こゝでは大分

敵の 分捕り機關車も動いてゐるが、日本の機關車に比べると牽引力がとても弱く、正太線から同蒲線にかけて軌道の兩側に街路樹のやうに列車の倍も高いアカシヤの並木が續いてゐる、フランス人の手に成る鐵道だけに美觀のために植ゑたものであらうがそれが無蓋車に乘つてゐるわれ〳〵には日除けになつて實に有難い、また最前線の鐵道修理ではこの並木を切つて早速枕木に使つてゐるさうだ

河北と山西の省境には地肌を露出する黒々とした炭層や溪谷を流れる茶褐色の水は一目で豐富な鑛產物の存在を知られるが、急勾配の溪谷を縫つて次第に所謂川西台地に入つて行くと沿線樣々の景觀の美しさはやがて

平和の曉に日本から見物客を引くだらうことを想はせる、だがわれ〳〵の場合觀賞を妨げるのは日本では想像も出來ない暑さだ、記者のもつて來た寒暖計も列車の上では最高目盛四五・五(一二二度)を忽ち突破してしまふので役に立たぬ、しかしこの暑さの中で戰線の守備に當つてゐる兵隊さんたちの顏をみると景色のことなどいつてをられずその兵隊さんたちの元氣な顏が輸次を過ぎて南下しはじめると緊張の色が目立つて濃くなり沿線も守備の苦しい話が途中の話題の中心になる

日伯漫談

須田町人

今年は與世山彦志だの藤原義江だの河上鈴子だのと、大分踊り子や歌唄ひが來ましたなあ、與世山などは移民と一緒に三等で來て、テアトロムニシパルで蓄音機で踊つたなんてんですから振つてます、今頃何所を歩いてるか知りませんが

【田舍稼ぎで】すと、あれでも結構間に合ひましやう、大體ブラジルは藝人に取つちや鬼門に當ると見えましてねえ、大抵はトヤを喰つて這ひも立ちもならなくなります、それも興業主と契約でもして來るのですとまだしもですが、フイに來たんじや大抵あぶれてしまひます興業主にしましてもいつ何をやつても損するにきまつてるものですから、歐米の一流所はよう呼びません、ブラジルは良い所にやちがいござわせんが、何しろお金の安いのが玉にキズでしてねえ、平土間五十ミルの木戸錢じや一寸とどなたもといふ譯に行きません、ことに此頃のやうに不景氣ですと、高いお芝居などは尙のことこたへますなあ、まあミルレースの上らぬ限り、いゝオペラや音樂家は來る氣づかいはござわせん、第一來たくたつて來られません、や、それにしても藤原や河上はいい時に來ましたなあ日本じや御時世柄横文字の歌を唄つたり尻振りダンスなどをやつてちや、どやし上げられますから喰つちやいけません、レビユガールでさへ

【此頃は舊劇】をやつてるさうです、大體横文字の歌やダンスは、日本人が日本でやるのなら珍らしいからモテますが、外國へ持ち出したんじや問題になりませんや、あの貧弱な聲量、あの

【貧弱な體格】トーダンスでもやつてのび上つた時にやアバラ骨が見えるなんて始末ですから、豐滿な肉付きのくつきり白い背の高い西洋人の踊るのを見慣れた人にや馬鹿々々敷くて見られませんや、昔三浦環が來たことがごわした、サンパウロには伊太利人が多いものですから何と批評するかと聞いてましたところ、スペルには大分間違ひはあるが、日本人であれだけに唄へばまあい〻方さと云つたところでした、恰も西洋人が忠臣藏をやつた場合、仕草や臺詞にや大分間違ひもあるが西洋人があれだけにやればまあい〻方さと云ふのと同じでさ、問題になりません外務省の方などは能くこれを利用なすつて彼此なさいますが、御當人音樂や劇が碌スツポー解らないものですから、い〻氣になつて居なさいますが、若し多少とも

【西洋の唄や】ダンスが解つたら到底小ツ恥かしくて一緒に觀たり聽いたりしちや居られないんですがねえ、よくしたもので解らない位强いことはごわせんよ、臆面もなく社交に利用なさいますからなあ、尤も始めから西洋人の忠臣藏と同じに考へてやるのですと別ですが、先樣そうは取つてくれませんから困ります、日本人の

【藝人で海外】迄押し出せるのは今のところ松井源水の獨樂廻しに天勝の奇術、ブラジルですと邦人相手の浪花節先づこの位のものでしやうな、とり分けカンタブラボならブラジルで大受け間違ひなしです、どうでしやう、その邊のお色氣のある旦那衆、一つカンタブラボを招んでみちや

爲替 廿五日

	公定相場	自由相場
伯英	八六、四八	一〇一、五三三
伯米	一七、七〇一	二〇、二九九
伯日	五、一一三	—

カーザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Praça Mauá, 25 -- C. Postal, 911 SANTOS
Phones: 2105 e 2106 -- End. Teleg: "TOZAN"

東山銀行
伯貨定期預金 一ケ年六分

サンパウロ事務所
Rua Florencio de Abreu, Ns. 74/76
Tels. 3-1141 - 3-1142 - 3-1143
取次所
Rua Conde do Pinhal, 120 - Tel. 2-3706
Caixa Postal, 528 -- SÃO PAULO -- End. Teleg.: "TOZAN"

リンス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
Caixa Postal, 11 -- LINS
Phone 240 - End. Teleg: "TOZAN"

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.º 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

切り取つて手紙へ

◉郷里送金
◉日本貨預金
新爲替管理令により內地向送金は一日四百ミル迄許可さるゝ事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尙新令により特別税として送金額の六分(六%)を「ブラジル銀行」へ納入せねばなりませんから送金額以外に六分(六%)の金額を加へ御送金下さい、特別税六分(六%)御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します

◉伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の割であります、外に當座預金、特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます

橫濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

御注文は早速!!
圖案優秀印刷鮮明の
一九三九年度
フオリンニヤ
フイルマ入りタオル
(フオリンニヤ代用)
お望みの圖案で染拔きます
なんと云つても日伯の物が
一番優秀です
御注文は本社出張員か又は直接本社へ
日伯社營業部

國府對立の尖銳化

皇軍の猛進擊によつて武漢三鎭の陷落は愈よ目睫の間に迫つてゐるが、現地よりの情報を綜合するに敵最後の據點たる武漢防備については早くも國府と共產黨系要人との間に意見の衝突を來し、內部的不安のために士氣甚だしく沮喪しをるもの丶如くである、即ち蔣介石以下國府系要人は武漢の支へも日本軍進擊の前には全く用を爲さゞるを見透し、多く兵を損せざる前に後退、後圖を策するを可とせるに對し、共產系要人は飽くまで武漢死守を主張したのであつて、事變の進展に伴ひ蘇聯の援助を賴みの綱とせねばならぬ羽目に陷つた昨今に於て動もすれば共產系に壓迫され勝ちの蔣一派は、强いて議論に勝つも實質的に不利を蒙るべきを察し、已むなく武漢に踏み留まることになつたと謂はれる、これらの事情は結局兩派の間に繕ふべからざる間隙を生じ、殊に最近漢口衞戍司令陳誠が左翼系諸團體を解散しその機關紙に發禁を命じてから漸やく尖銳化し、國共合作も遂に名實相伴はず、延いて當面の目的たる抗日意識にやうやく龜裂入れるが如くである

今次事變はすでに世間周知の如く國民政府の隣邦を無視した以夷制夷政策に源を發してをり、それが或は國府の一時的繁榮に資するを得ても、遂に支那四億の民衆を救ひ極東の平和を維持するものに非ざるは最初より判つてゐたものだが、彼らが恃とせる蘇聯は滿蘇國境事件によつて證明された通り對日開戰の決意なきこと明にされ、それによつて自家擁護の具に供しようとした當初の豫定は根本的に覆されたのである、現に蘇聯が武器を供給し國府支援を繼續しをる如く見ゆるも、それは支那共產黨を通じて行はれをるものであつて、若し國共對立抗爭更に惡化し兩黨分裂するが如きことあらば蘇聯の國府支援は最早や絕望と見なければならぬ、中國共產黨が一方國府喰込み策を採りつゝ、他方全く別個に共產國家建設に努めつゝあるは、まさしく國共合作の將來を卜するものに外ならぬのである

事變發生以來何かにつけ皇軍の行動を阻害しつゝあつた英國は香港廣東等に於て局部的には猶執拗に反日行爲續けをるも、全面的には稍下火となつた觀がある、即ち財政的援助を得べく歐洲を廻つて來た宋子文の言によるも、英國が對支借款に素氣なき態度を採つたことを憤慨し、最早や英國賴むに足らずと放言しをる如きよくこの間の消息を傳へるものといつてよからう、利に敏なる英國が國府政權の前途を知る限りこれに何時までも繼々たるが如きは考へられざることで、在支權益問題につき我方に對し速りに駄目を押してゐるのも、對支政策轉換の前提と見るこそ老獪英國のため正鵠を射たものと云つてよからう、佛國が對支鐵道借款一億五千萬法に應じたといふ說は、國府系通信社の報道であつて遽かに信をおくことは出來ない、廣西、貴雲に接する佛印の地理的、經濟的關係からすれば、これを無下に卻け得ないものもあるが情勢が刻々と國府に不利に展開されつゝある際、國府と心中するには佛の極東に於ける利害關係は餘りに重要に過ぎるのである、而も國際問題につき事毎に提携的態度を採る英國の出方が前述の如しとせば、佛の援蔣政策もおよそ峠が見えてをるのではないかと察せられる

初等教育刷新案成る

現在の「尋常小學」（高等小學）を「國民學校」（國民實修學校）に改編
知識偏重、畫一主義を打破

現在のわが國教育の內容および制度の刷新、振興の線に沿つてとくに國民教育の基礎をなす初等教育は智育偏重、教育の畫一化、形式化に墮する弊害ありとして教育審議會において逸早く議題となり愼重協議をなし、幹事會において改革原案を作成することゝなり過般來試案作成中であつたが今回成案を見、先の特別委員會に付議し先月十三日の特別委員會に正式提案された、右幹事試案は全文左の如くであるが立案の主旨となつてゐるものは從來の小學校が十數個の學科目が羅列されてあるだけで知識が平面的となり知識の縱の聯繫がとれず訓育の効果が薄いのにかんがみ文物の進運、中外の情勢など現狀に卽して現行の小學校を國民學校、國民實修學校に改編し相當思ひ切つた改革によつて初等教育の効果をあげんとしてゐる

提示された教審幹事案

一、現在の尋常小學校、高等小學校を國民學校および國民實修學校（ともに假稱）に改編する

一、國民學校の修業年限を六ケ年とし國民實修學校の修業年限を二ケ年とし國民學校および國民實修學校の教科の修了をもつて義務教育を終りたるものとす

一、國民學校においては國民の基礎的錬成をなし、國民實修學校においては實務を主眼とし國民を錬成す

一、教科については從來分離的に取扱はれたる各學科目の綜合知識の具體化、その實行との合致を計る

一、國民學校の教科は高學年にありては皇民科、自然科、體育科、訓練科とし低學年にありては皇民科、自然科、訓練科とし、國民實修學校の教科は職業科、皇民科、自然科、體育科、訓練科とす

一、實現の方法については教員の養成および再教育をもつて第一着手とし、その用育成るを待ち、かつ教育研究機關を設置してかくのごとき教育を研究せしめ漸次これを實施す

教科案と教授時數案

國民學校教科（現在の尋常小學校に當る案）

◇低學年（一、二、三、四學年）

一、皇民科　修身教材、國語教材、國民教材、國土教材、東亞および世界教材
二、自然科　算數教材、理科教材
三、訓練科　禮法、行事、體操、教練、遊戲、衞生、習字、作文、唱歌、圖畫、手工

◇高學年（五、六學年）

一、皇民科　修身教材、公民教材、國史教材、國土教材、東亞および世界教材
二、自然科　算數教材、理科教材、地理教材
三、體育科　體操、武道、教練、衞生
四、訓練科　禮法、行事、書方、作方、音樂、圖畫、家事、裁縫

◇國民學校每週教授時間數案

一、低學年

教科目	一學年	二學年	三學年	四學年
皇民科		一〇	一一	一二
自然科	二一	五	六	七
訓練科		八	八	一〇
計	二一	二三	二五	二九

二、高學年

教科目	五學年	六學年
皇民科	一二	一二
自然科	七	七
體育科	五	五
訓練科	六	六
計	三〇	三〇

國民實修學校（現在の高等小學校および青年學校普通科に當る）教科案

一、職業科　農、工、商、水產その他の職業
二、訓練科　禮法、行事、習字、作文、音樂、圖畫、家事、裁縫
三、皇民科　修身教材、公民教材、國史教材、國土教材、國語教材、東亞および世界教材、外國語
四、自然科　實用算數教材、實用理科教材、地理教材
五、體育科　體錬、武道、教練、衞生

◇國民實修學校每週教授時數案

教科目	一學年	二學年
職業科	一〇	一〇
訓練科	四	四
皇民科	六	六
自然科	六	六
體育科	四	四
計	三〇	三〇

（備考）工、商およびこれに對する職業の教科を授ける學校においては職業科において毎週二時間以內の時數をもつて農耕的戶外作業を併せて課すること

憲法發布五十年 聖恩に浴する人々
十月末頃に復權狀交付

【東京廿五日同盟】去る二月十一日憲法發布五十年に際し煥發あらせられた恩赦勅令に基づく特別復權の上奏手續きは七月二十日をもつて檢事正から司法大臣に對する神祇書を〆切つたが、司法當局では聖旨を奉戴して漏洩誤算なきを期するため書類調査に格別深甚なる注意を拂つてゐたので八月末日をもつて上奏、書類全部の內閣送付を完了することになつた、而して特別復權の上奏人員は當初の豫想より遙かに多數に上る一萬五千名に達するので司法當局に於ては聖恩の廣大無邊なるに感泣してゐる、尚右の聖恩に浴する人々に特別復權狀を交付せられるのは十月末頃となる豫定である

滿洲警備に勇戰 皇軍將兵へ功賞
第一回分の總人員發表

【東京二十五日同盟】畏き邊りでは滿洲警備に勇戰した皇軍將兵の赫々たる武勳をめで、滿洲事變第二次交涉に次いで昭和十二年七月六日までの從軍將兵に對し滿洲事變第三次功賞の御沙汰あり、賞勳局では二十五日御裁可を經てその第一回功賞を發表した今回は總人員一萬七百七十六名で內陸軍九千八十名（敍勳四七六四、賜金四三一六）海軍一千六百九十六名（敍勳六二〇、賜金一〇七六）である

訪獨中の洪國攝政 愈よ晴の伯林入り
空前の大觀兵式を擧行

【伯林廿四日同盟】獨逸公式訪問中のハンガリー攝政ホルチー提督夫妻はヒトラー總統同道二十四日午後六時半特別列車でハンブルグから晴れの伯林入りを行つた、驛頭にはゲーリング空相をはじめ、當國の首腦連が多數出迎へ獨逸ハンガリー交驩の宿舍たる總統官邸に向つた、明廿五日はホルチー攝政歡迎の大觀兵式が擧行されるが參加將兵一萬六千余名、戰車四百十二台、重砲三百八門及び軍用機百四十台と獨逸今迄にない大規模なものといはれる

外貨資金集中政策に 米國系銀行も參加
大藏省の劃期的政策、海外で好評

【東京二十五日同盟】政府は各爲替銀行外貨資金の全面的利用を圖るため本邦爲替銀行外貨爲替資金の日銀集中方針を決定、既に大部分の爲替銀行は日銀と資金集中に關する契約を結び、第一回の集中も行はれたが、同集中政策が本邦爲替銀行にのみ適用するものなるに拘らず今回米國系某外銀より正式參加の申出であつた

而して過般實施の外國爲替基金の設定と爲替資金の日銀集中は我爲替政策として劃期的のものであるだけに海外に於ける反響を注目されてゐたが、今回右の如く外國の大銀行が爲替資金の日銀集中に申込んで來たことは海外に於ても好評を得てる證左である

樺太西海岸に漂流 目明盲のソ聯漁夫
當局取調べの上無事出港

【豐原二十五日同盟】樺太廳高等課發表、本年六月三日樺太西海岸牛毛地に漂流したるソ聯發動汽船一隻四十五號乘組員船長ピウピー・エフラウレート以下五名に就ては充分容疑の點あり樺太廳に於て嚴重取調べ中のところ、同船乘組員は極東强制勞働者收容所タンバワイ第一支所に收容せられてありし者達にしてソ聯の極東文化工作も極東の住民にまで徹底せぬ模樣にしてロシアの字も辨へず從つて學識の程度も充分ならざる狀態にして單に第一支長の命令の儘に浦鹽附近に於て漁業に從事中なりしも航海術など辨へざるため方向を誤り漂流し前記牛毛に漂着せること判明し別段他意なきものと認められるを以て在亞港領事と打合せの上二十三日無事出港せしめたり、なほ乘組員は出發に際し待遇其他身柄に關する處置に關し樺太官憲に感謝の意を表し來れり

ランシマン調停 双方間に大體滿足
チエコ・ズデ黨交涉軌道へ

【プラーハ二十四日同盟】チエッコ首相ホツザ氏は二十三日午後ランシマン卿並に隨員グアツキンと會見、小數民族問題の解決方針に關し三時間半に亙り重要會談を遂げたが信ずべき情報によれば同日の會談に於て今後チエッコの政府、ズデーテン黨の間に双方の基礎とすべき大體滿足のものといはれるからチエッコ政府とズデーテンとの交涉は愈々軌道に乘るのではないかと期待されるに至つた

武運長久を祈念 海軍へ佛舍利獻納
隱田妙法寺の藤井住職

【東京二十五日同盟】澁谷區隱田妙法寺の住職藤井幸勝氏は二十四日海軍省を訪れ貴重な佛舍利三器を武運長久を念じて獻納した、この佛舍利は同氏が日蓮宗を釋迦の聖地にひろめんと昭和五年渡印以來八年間印度各地を巡歷、印度に骨を埋めんとの念願を立てゝゐたが、祖國の事變に國難打開を祈願すべく去る三月歸朝、その際サイゴンの高僧エヌピアラタナシから贈られたもので古塔を象どつた金色燦然たる高さ一尺五寸の容器の中に釋迦の立像が安置してある、感激した山本次官は直ちにこれを支那方面艦隊の出雲はじめ各艦隊旗下に安置することになつた

對支航權の擴充へ 郵、商兩社も援助
日清汽船愈よ積極的邁進

【東京廿五日同盟】國策會社の母體となるべき日清汽船では最近左の如き郵船、商船兩社の具體的援助の下に人員の補充、艙室、船腹の擴充に努め各種の積極政策を具體化せしめ對支航權の擴充を期して萬般の準備を進めてゐる

一、郵、商兩社は各々十六、七名の社員を日清汽船に貸與し當分同社の事務に當らしめる

二、日清汽船は最近興銀より九百万圓見當の融資を受け三千五百トン型四隻の新造船に着手するに至つたが、右興銀の融資に對して郵、商兩者は保障を興へるのみならず郵、商兩社新造船を幾分遲延せしめて優先的に日清汽船の新造船を促進せしめる

三、郵船同社所有の小型船筑後丸（二・五〇〇噸）及び近海郵船所有の大隅丸（二三〇〇噸）二隻、商船でも同樣小型船四隻を日清汽船に臨時に貸船

在滿ソ聯人續々 國籍を放棄
白系轉籍申請

【ハルビン廿四日同盟】在滿ソ聯人はソ聯國籍を放棄し白系に轉籍するもの增加の一途を辿り特にリユシコフ大將の脫走以來轉籍者は倍加の傾向を示し、八月十五日現在數は三千二百二十四名、更にその後百六十名の希望者を數へるに至り此趨勢では在滿全ソ聯人の轉籍の日近きを思はせる

Pensão Nippon
S. Hayashita
R. Bern. de Campos, 407
Campinas

カンピーナス市ベルナルヂーノ・デ・カンポス街
日本旅館
館主 林田末敏

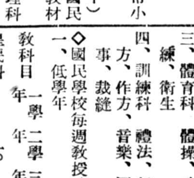
內外雜貨商 農產物仲買
奥山商店
奥山濱作
ノロエステ線グワヰサラ驛

讓り度し
キタンダ盛業中の物を格安に御讓り致します
コンデ・デ・サルゼダース街二一〇番

眞宗法話會
毎月二十八日 正午より
【會費不要】
岡田英定方
Rua Dr. Mario Vicente, 50 Ypiranga S. Paulo

東齒科醫院
本院 中央メスキツタ
分院 ヴイラ・ヴエーラ（第二メスキツタ）
マリリヤ驛 中央メスキツタ

讓店
聖市內に盛業中のベンダ・デ・セツコスモリヤードス
價格拾五コントス、內外、照會は
トキワ旅館下 日本藥局へ



寶石商
カーザ・カストロ
總領事館、ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小學校并に運動團體より御買求めの榮を賜る

Predio Martinelli 下
寫眞機‥ 斬新メガネ
其他材料在庫豐富、日本人の方々に信用ある店、御用命の程…………

和歌山縣人各位 御中

現下母國の非常時に當り在伯同胞間に於ても極力銃後奉仕の實績を擧げつゝある事は御同慶の擧として本懷の至りであります、事變の將來性に鑑み母國の意圖を奉じ層一層最善の奉仕を致す事は私共の當然の奉仕と存じます

就きましては乍潛越下名の通り發起人となりまして在伯全同縣人各位より各自應分の據出を仰ぎ來月歸國の任勢郁氏に托送して縣下出征の將兵に對して奉謝の微衷を致す事に致しましたから斯の意を諒せられ奮て御出金の程を切望致します

尙任勢郁氏九月十八日サントス出帆に就き九月十日迄に至急最寄發起人又は左記宛に御送金を御願ひ致します

T. Washizuka - Caixa Postal, 3015 S. Paulo

但し新聞廣告を以て金額領收證に代ふ

一九三八年八月二十四日

發起人 沖周一郎 鷲塚時藏 川崎稔 竹中儀助 竹田清一 竹原利一郎 桑原竹次郎 松原安太郎 村上達三 福田長一 宮崎義雄 （イロハ順）

絕讚！又絕讚!!
遂にレコード界始つて以來の最高記錄を樹立せる
コロムビアの
愛國行進曲（三〇〇〇二）
を始めとして弊社最初の日伯兩國歌は至寶的最高決定盤となる
君が代
伯國々歌（一六〇〇四）
コロムビアの愛國行進曲の前に他の愛國行進曲なく、日伯兩國歌の後に斯の如き名盤なし
日伯社コロムビア部
コロムビアレコード

生徒募集
洋裁專修部（男女服共）
速成科 三ケ月、毎日六時間 月謝百ミル
普通科 六ケ月、毎日三時間 月謝五十ミル
特別科 十ケ月、週三回（月・水・金）（火・木・土） 月謝三十ミル
夜學八ケ月七時より九時まで 月謝四十ミル
女學部 女學部 月謝三十五ミル 學力試驗の上希望學年に編入す
葡語專修部 葡語部 月謝三十ミル
隨意科 生花・手藝・製帽 各部共入學隨意
寄宿舍 （高層・閑靜）舍生、全責任を以て保護す
公認 日伯裁縫女學校
公認 日伯葡語小學校
聖市ガルボンブエノ街三六一番
電話 七-七七一〇

移民法本極り！

聖市、サントスを除き殘り全州が農村地帯
助かつたは僅大正、タボンなど三校
開けて口惜しや施行細則

去る五月四日に出た移民法はこの廿日更に之を修正、同時に施行細則も公布され事移民に關する事項は泣いても笑つてもすつかり出揃つた形となつたが、大體移民法の骨子は五月四日の法令通りで、修正法も大した事なく施行細則も結局細かい所を規定、種々殘された疑義明かとなつた程度で、我々在留民にとつて最も關心を惹くのは農村地帯の定款であり、又細則で決まつた割當數である、その結果日本移民は最低割當三千にも充たず、結局三千人は毎年入れる理屈となり、更に邦人小學校に重大影響ある農村地帯は聖市、サントスを除き州内全部農村と見做されることゝなり、聖市大正、ピネイロ並にタボンの三校を除く他は全部たとへリンス、バウルー等の地方都市でも農村學校となる譯で十四歳未滿の邦語教育は全滅となる譯である

外國人の入國居住に關する所謂移民法は五月四日付法令第四〇六號を以て公布されたが昨日本紙既報の通り更に去る廿日付法令第六三九號を以て之に修正加へられたが、之と同時に同日付を以て右移民入國居住法施行細目が法律第三〇一〇號を以て公布された、施行細則は二百數十條官報三十數頁に亘る尨大なもので先づ最初に移民の割當に付規定次いで

移民協約、入國外國人の分類、領事査證、再渡航許可、團體移民誘入、上陸手續、身分證明、上陸禁止、移民收容並に配耕、外國人登錄並監督、船會社規定、移民印紙、移植民審議會、總則等の各綱目に亘り詳細に規定されてゐるが、この細目によつて特に注意すべき事項は大體次の如きものである

一、割當の余つた分を割當の不足の移民に融通する所謂割當融通條項に關しては移植民審議會は國家の人種的社會的、經濟的な必要を考慮して之を決定する
一、割當剩余は翌年に繰越し得るが、但し三年以上に亘る場合又はその三年以上の累計は之を加算せぬ
一、移植民局は入國外國人の統計をとり毎年三月卅一日までに剩餘を移植民審議會に報告する
一、旅行者その他一時的滯留者（六ケ月以内）再渡航者、一歳未滿、伯國人と結婚せる者、伯國人の子を持つ者は割當外とす
一、二年以内に歸伯する者は再渡航を許可す、之は再渡航證明を必要としその有效期間は一年、右期限内に再申請すれば當該國伯國領事官の許可によつて更に一年延長できる
一、農村地帯の新聞その他出版物刊行は豫め司法内務省の許可を要し、その際審議會は特に外國人の言語、風習の影響強き地方に就いては之を考慮する
一、本法規定の農村地帯とは聯邦府各州首府並に外國人入國港の境界内を除き國内全部を指す
一、本法は公布後百廿日後に實施する

外國人取締法
施行細則も公布

移民法施行細則と共に外國人の政治運動取締施行細目も次いで廿一日公布を見たが、之は取締法中第六條の外國人の文化、衛生、慈善、教育團體の登錄手續きに付規定したもので右團體は各州首府にあつては三十日、地方は六十日間内に聯邦司法内務省に屆出でねばならぬこととなつてゐる

外國人入國割當表

主なる入國各國移民の割當は次の通り（上列の數字は一八八四年乃至一九三三年の過去五十年間入國數）

	基本數	割當
伊太利	一、四〇一、三三五	二八、〇二六
葡萄牙	一、一四七、七三七	二二、九五四
西班牙	五五七、二六四	一一、五四五
獨乙	二三八、六〇二	四、七七二
日本	一四二、四五七	二、八四九
土耳古	七八、一八四	一、五六三
波蘭	六〇、五二〇	一、二一〇
佛國	五四、〇〇六	一、〇八〇
リトアニア	四四、八〇三	八九六
ルーマニア	三八、〇四八	七六〇
ユーゴスラビア	三六、一〇六	七二二
英國	二一、一七三	四二三
洪牙利	一六、二四三	三二四
米國	一〇、七一六	二一四
以下略		

なほ日本以下の入國數は最低割當三千まで引揚げられる譯である

邦語教育愈よ危機へ

パラナ州に新教育令發布されこゝにも亦邦語教育の危機來を思はせたが、その後北パラナ一帶に於ける邦人子弟教育は伯人教師との間も至極圓滑に、又伯國學務當局よりも何等干渉がましいこともなく父兄一同安堵して邦語教育を續けて來たが、昨今に至つて警察の下級官吏間に邦人教育の實情を内偵し邦語教育の停止を命ずる等の非道な壓迫が頓に重なつて來た模樣である邦人側から警察官に對し「何故壓迫するのか」と糺してもそれに對し明らかにその理由も説明出來ぬやうな有樣で、又その停止命令が果して何處より出てゐるものかも判然としないが、傳へられるところではこれは必ずしも州當局の意志ではないらしく色々裏面に經緯があると見られてゐる某邦人植民地の一伯人教師の如きは警察官と結託して通行中の邦人兒童を捉へ犯人でも訊問するやうな態度で一々兒童の行先、目的等を聞き糺し

兒童監視のゲ・ペ・ウ
持物まで調べ上げる
壓迫きびしきパラナ地方

持物まで調べ上げ、その擧句「お前等は何處で日本語を習つてゐるのか、嘘をいつたら承知せぬぞ」「カデイアに入れるぞ」とか「嘘をいふと罰金をとるぞ」等々の凄文句で兒童を脅かし、いたいけな兒童達をスツカリ震へ上がらして居る、兒童の中には恐ろしさに泣いて歸る者もある有樣でこれに怯へた兒童達は家の用事で買物に行くのさへ澁つてゐるやうな狀態であると

本社主催 全伯野球
戰機愈よ迫り 若人闘志に燃ゆ
聖市豫選番組決る

一年一度の晴れの舞臺として球兒たちがあらん限りの精魂を打込んで死力を盡して戰ふ本社主催第三回全伯野球大會はもはや數日後に迫つた、地元聖市豫選區では去る二十四日豫選大會出場チーム、サンパウロ倶樂部、ドラゴン、學生の主將會議の結果二十八日午前八時より入場式擧行の後左の番組で晴れの代表を決定することゝなつた

▲第一次試合（九時半開始）學生聯盟＝ドラゴン倶樂部
▲第二次試合（午後二時半開始）サンパウロ倶樂部＝第一次戰勝者

代表チーム 宿舍決定

晴れの大會へ出場する各線代表チームの宿舍が決定した、なほ各チームは卅一日迄に着聖せられたし

パ線代表　浪花旅館
聖市代表　中國館
ノロ線代表　常盤旅館
北パラナ代表　福屋旅館
ソロ線代表　東洋旅館

流線型

▼…モヂ郡聯合日會では慰問袋八百個を作製、既に送附した
▼…先頃在聖日本品輸入商六軒が値段の協定をやつたが、ブラ拓はシイタケや梅干の類までこれらの商人とカチ合ふ樣な品物を取り寄せて賣るので協定しても何んにもならんと破棄してしまつた
▼…在聖日本人商工組合ではいまでみたいに有名無實ではいかんと積極的に乘出すこととなつたが、現在會員八十名居る
▼…ロシヤでは最近非常に棄兒が多いが、見つけ次第可愛そうにこの赤ン坊はモルモツトの代りに科學者の試驗臺に供してゐると
▼…サンベント街に寫眞材料店を開いた千田君、現在の場所が狹いので新たに立派な寫場だけを設けるべく適當な場所を物色中
▼…昭和十年以來リンス青年會郵便部で主任書記安島君を助けて毎日馬車一杯に來る郵便物を手ギワよく配つて三千家族の人々から感謝されてゐた鳥居竹廣君は去る十九日病氣で死亡したが、青年會では同君の功勞に酬ゆる意味で盛大なる青年會葬を行つた
▼…火曜本欄記載の千人針をムゲに斷つた婦人は水曜會員ではないと同會幹事から抗議申出あり、流線子の聞き違ひとして一應該記事を取消します

在外同胞に忠告
祖國愛の献金運動
多少行過ぎの風潮あり
▽……河相外務省情報部長談

【東京九日】日支事變勃發以來南北兩米大陸南洋その他各地住外同胞の祖國愛は内地の人々の想像以上に旺んで續々と恤兵金、國防献金、飛行機その他の献納を申出てゐる有樣は各方面の感激するところであるが、最近地方によつては在留同胞の之等運動が熱情の余り實際上多少行き過ぎの風潮を帶びて來たところもあるらしいので、九日河相外務省情報部長は大要左の如く語つた

海外在留同胞が熱心に各種の國防献金をしてゐるのは愛國心の發露として我々政府當局者としては非常に

感激して

ゐる次第であるが、たとへ「長者の萬燈貧者の一燈」といふ俚諺もあり各自その分に應じて善處すべきであり、その志を同ふする各團體がその在留同胞社會人心に及ぼす影響を考慮に入れず、徒らに献納金額或は數量の大なるを競ふが如きことがあつてはならぬ

海外在留

同胞としては祖國日本の實力を認識し推しも推されもせぬ大國の衿示を持し各在留國の實情に則應し、各自熱心にその職に勵み身を立て家を興し、以て在留同胞社會の進歩と幸福增進のために應分の貢獻をなすと共に各々その立場に應じて日常接觸する外國人に對し一人でも多く日本の正しい姿を認識せしめ彼我兩國の親善關係に寄與するやう努力ありたい、斯樣な

努力こそ

在外同胞の特權で内地に在る同胞の容易に企圖し得ない眞に意義ある國民外交と謂ふべく、これこそ眞に愛國的であることを銘記されたい

消し飛んだ感謝狀
俄然！表面化した 珈琲植付違反事件
リオから檢查官乘込む

既報、パ延長線ポンペイヤ及びマリリヤを中心とする一帶の珈琲植付制限令違反事件はその後裁判の結果、一段落着いたといふので邦人植民者は先般當時の責任者師富榮氏に對し感謝狀さへ贈り、總領事館さへ渦中に引きづり込んだ該事件は落着したものと思はれてゐたが、突然去る廿日リオ珈琲院より顧問辯護士及び檢查官數名がマリリヤに乘込み内外人の反則植民者に對し反則調查書に署名せしめた上出頭命令書を手交し、附近一帶に囂々たる渦を捲き起してゐる

なほ右に對し報を受けた總領事館でも心痛して居るが異論あるものは十日内に珈琲院に對し辯護士を立て申込むべしとの事であるが、この珈琲植付違反は邦人だけでも數百萬本に達する見込みである

多賀從軍記者の初講演會
屋根づたひに 飛び込む騷ぎ
聽衆場外に溢れる盛況

既報、遠く祖國の安危を氣遣ふ在留同胞のため戰線からの第一聲を傳へるべく來伯した岡山合同新聞特派從軍記者多賀安郎君の講演會は聖州に於けるトツプを切つて一昨夜七時よりピネイロス區產業組合主催の下に同會館で開かれた、開會卅分前に早くも滿員となりそれ以上入れたら會館の床が拔けるといふので扉を閉めたが、諦め切れぬ人々は屋根を傳つて窓から躍り込むといふ騷ぎであつた

講演は二時間餘に亘つて皇軍將兵が如何に辛苦を嘗め艱難に耐へ祖國のため活躍奮闘してゐるか文字通り「戰線からの第一聲」に聽衆は寂として聲なく一言一句も聞き洩すまいと耳を傾けた、引續いて讀賣新聞社特輯の生々しい事變ニユースに非常時下の日本を目のあたりに見て非常な感銘を與へた

なほ講演は引張りだこで附近のタボン區でも是非やつて貰ひたいとの事で廿九日に同地で開催するが、本日はモヂ郡聯合日會主催で同地シネマパルケに於て午後一時より開くことゝなつてゐる

ステフアニーの捕縛は本當か？
小西商店二千コントス犯人

既報、英國向け高飛した聖市小西商店二千コントス事件犯人アンドレ・ステフアニーの居處についてはその後佛國のツーロンに潛伏してゐることが判明、昨日のリオ電話によると捕縛されたと云はれて居るが、右について小西商店では左の如く語つて居る

いまだにリオ警察よりは何も言つて來ないが、もしも捕へられたとしたならば當方に直ちに通知がある筈だまた本日も顧問辯護士が來店したが少しも右の點について觸れてゐないので未だに眞僞は判明してない云々

モヂ聯日會役員會
專屬看護婦置いて トラホーム撲滅へ

躍進モヂ郡聯合日會では去る二十四日同會事務所に於て役員會を開催、管下十團體の役員一人も缺けずに出席、左の件を協議し、滿場一致で可決した

一、多賀安郎氏歡迎の件
一、トラホーム撲滅　同仁會より出張を仰ぎ、同會專屬の看護婦を傭ひ家庭まで手を伸し撲滅を計る
一、月掛國防献金　一口一ミルで經濟の許す限り擧つて參加
一、鑑識手帳の取扱ひ開始　聯合日會で取扱ひ河本常任幹事が聖市の適當な法律事務所と連絡あり、割引で得た金を國獻、青年會、聯日會の基金に充てる

陸聯役員會
明日日本倶樂部で

全伯陸上競技聯盟では明二十七日午後八時より日本倶樂部に於て役員會を開き全伯陸上競技大會に對する最後の打合せをなすこととなつた、同夜は全伯大會役員の詮衡、陸聯總會に諮るべき議事その他重要事項について協議すると

坂根さん 呆然となる事

アラサツーバ學園講堂に於ける坂根總領事の日支事變の話は聽衆に多大の感銘を與へたが、ア市郊外に住む鹽豆水（假名）といふ親爺の抗議には啞然とされたらしい、この親爺は既に資產百五十コントを越へ、例の大枝タツー氏に四十コントを貸してゐた位の男で、ミカンを作り、豆腐をつくり山もやつて大金を殘した名物男だが曰く「俺の伜は日本にかへつたら兵隊にとられた、こゝ生れで日本の飯も食はず何の世話にもなつてゐないのに國籍が在るだけちうだけのことで日本に歸へる早々、兵隊にとられたとは怪しからん、支那にでも行つて萬一の事でもあつたら總領事が責任を負ふか」と

「それは陸軍省の管轄で、外務省のそれではないので…」と坂根氏もカンタンに打つちやつたが、この非常時に何事だ、ナグつて失へといきまいた連中もあるトカ、どこやらでは日支事變に日本が負けたら、おいらの土地は伯國政府に取られるんぢやないか……と夜も寢れぬ位心配してゐる大地主もあるとやらで、イヤ下には下、上には上があるけれども、こんな日本人離れのした人間共が案外少くないのはアキレた事だ

日伯裁縫女學校 夜學部開始

聖市日伯裁縫女學校では今回洋裁專修部の夜學（七時より九時まで）を開くこととなつたが期間は八ケ月、月謝は四十ミルの由

學生聯盟主催 國防献金シネマ

聖市學生聯盟では來月六日午後七時半からサンパウロ劇場に於て國防献金シネマの夕を開催する事となつたが、入場料三ミル五百レース、上映フイルムは次の通りである

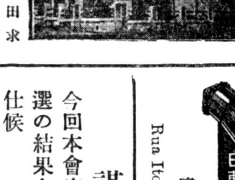
△青空士官（トーキー）九卷
△裁かるゝ女（日本キネマ社提供）六卷

貸店　良住宅付、ピネイロス、マルチン・カラスコ街七〇番在、メルカード前、附近日本人產組あり、詳細は Rua Butantan, 63-A Pinheros

青年募集　リオ向トマテ、バタ、作　ミナス州ジユイス・デ・フオーラ市外ベンヒーカ驛前　津山兄弟蔬菜園　A. TUYAMA Est. Bem Fica E.F.C.B. Minas Geraes

尋人　サントス丸第九回船昭和四年十二月十二日サントス港着　本籍地佐賀縣東松浦郡湊村大字湊　家長 浦田年雄　ジユイス・デ・フオーラ迄通知すること　Tokio Urata R. Marechal Deodoro, 61 Juiz de Fora - Minas

Dr. J. de Souza e Silva
Av. Sampaio Vidal, 340 - Marilia
小兒科專門
お子樣の病氣しか診察致しません
ドトール・ジエ・デ・シルヴアア・ソーザ
＝マリヽア市＝
アベニダ・サンパイオ・ビダル三四〇


リンス市　電話　一四
醫學士　今田求

農作地　モヂアナ線サンパイオ・モレイラ驛耕地内、農作好適地、メイア作者募集、既に日本人入植者あり、學校、藥局、商店、醫者、電氣あり、健康地　詳細は左記へ　Irmãos Sampaio Moreira Ltd. Rua Libero Badaró, 436 3°. andar sala, 15 Tel. 2-5618

AKAKI & CIA
農產物賣買
赤木商會
委託販賣
RUA SANTA ROSA, 473
Caixa, 1897 - S. Paulo - Tel. 2-9081

銃後献金婦人會シネマ決算報告

收入　三、九八三＄〇〇〇
入場券賣上　一、一三八枚（一枚三＄五〇〇）
支出　二、〇一七＄五〇〇

内譯	
會場借入費	一、〇〇〇＄〇〇〇
映畫「白虎隊」借入費	九八二＄七〇〇
ニユース借入費	四〇〇＄〇〇〇
會場心附	七五〇＄〇〇〇
入場券代	五七〇＄〇〇〇
新聞廣告料	八〇〇＄〇〇〇
廣告印刷二千枚	六〇〇＄〇〇〇
廣告ビラ折込料	六五〇＄〇〇〇
廣告大ビラ十枚	二七五＄〇〇〇
殘高	九八二＄七〇〇

右之通りに御座候
八月廿五日

御禮

愚息三男實三儀一伯人の爲去八月十五日午前一時不慮の災難に合ひ候處幸に一命をのがれ數日靜養の結果全治仕候間此段御厚禮を兼ね謹告仕候
就て當時は會員諸彥青年諸氏御一同の御後援を得犯人も逮捕致し安心仕候各線各地方の諸賢より御叮寧なる御見舞を頂き實は一々御厚禮申上可きなれど略儀乍ら紙上を以て御禮申上候

スザノ驛福博植民地
父　原田敬太
同　實三

極上等　**バタチンニヤ和蘭種**　初代物（無病保證）
數量に制限あり御早く御用命を願ひます

石油節約　**ランプの王**（谷式大改善）
一、ホヤの堅牢（科學的大工夫）
二、心の出入自在器（特別改善）
三、外觀金の優美彩色
四、ホヤは從來の谷式ランプに適用
價格二五ミル也聖市渡し
發賣元　日東商會　Rua Itoby, 9 Caixa, 3644 Tel. 2-5746 S. Paulo

謹告

今回本會定期總會に於て次農年度役員改選の結果左記の諸氏當選就任仕候間謹告仕候

昭和十三年八月五日
マリリア驛ヴイラ・ペーラ
共愛日本人會

會長　家入滿
副會長　白石吉雄
會計　佐藤國藏
學務委員　山本武章
同　久保久
同　宮川正
同　田坂和市
衛生土木一區　岩間敏雄
同　二區　楢岡重則
同　三區　小川初次郎
同　四區　久保直

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 6.a-feira, 26 de Agosto de 1938 — Num. 1.491

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR — GERENTE
Masaaki Udihara — Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ....30$000
Por semestre ....16$000
Numero avulso $500
PARA O EXTERIOR
Por anno ....100$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

Que as potencias estrangeiras tenham maior comprehensão dos actuaes acontecimentos

E' o desejo dos circulos japonezes

Tokio, 24 — Domei — Em face das actuaes conversações, levadas a effeito entre o ministro Ugaki, titular da pasta do Exterior do Japão, e o embaixador britannico em Tokio, sr. Robert Craigie, o porta-vóz do ministerio do Exterior do Japão foi interpellado sobre si o Japão havia apresentado alguma condição para acceder ás exigencias formuladas pela Inglaterra, de sua politica de sympathia para com o governo chinez de Hankow.

Respondendo á interpellação affirmou o titular japonez que tal condição não fora em verdade, apresentada com essa crueza de expressão, mas o Japão esperava que as demais potencias tivessem maior comprehensão da actual situação, especialmente no que diz respeito ás operações militares na China.

Accrescentam os circulos politicos em commentarios feitos em torno da declaração acima, que o Japão estaria certamente disposto a fazer concessões, dentro de suas possibilidades, mas que não era possivel reduzir a intensidade de suas operações militares para satisfazer os desejos de outras potencias.

As actividades dos industriaes nippo-chinezes

Tokio, 20 - Domei — Desde o advento do actual conflicto, a Sociedade Industrial nippo-chineza veio mantendo uma attitude de observação, mas agora, attendendo ao appello dos industriaes chinezes, a Sociedade resolveu cooperar activamente no restabelecimento economico nippo-chinez. Para os necessarios preparativos, reunir-se-ão em Tokio os membros directores dessa agremiação de classe, devendo ser discutidas as bases fundamentaes dos seus objectivos. Como a primeira obra dessa associação será levada a effeito a organização da Associação nippo-chineza de Commercio Exterior que deveria ser fundada na occasião da visita da missão economica chineza no anno passado, mas que foi impedida pelo advento das hostilidades, que ainda continuam.

As relações nippo-britannicas

Commentario do "London Times" e do "Tokio Nichi-Nichi"

Londres, 20 - Domei — Em sua edição de hontem o "Times" desta capital publicou um editorial intitulado "O Japão e o protesto britannico", no qual o influente orgão londrino estuda varias questões do momento, referentes á relação nippo-britannica, preconizando ao Japão a solução dos seguintes problemas:

1.° — A prohibição de estabelecimento de estrangeiros nos arredores de Jikow e Yanju.

2.° — A intervenção de autoridades japonezas no commercio inglez do porto de Tsingtao.

3.° — A prohibição da navegação no rio Yang-Tsé.

O "Tokio Nichi-Ninhi", interpretando as negociações nippo-britannicas, publicou por sua vez na edição de hoje um artigo sob o titulo "O andamento da conferencia nippo-britannica" chamando a attenção do governo inglez para a sua reconsideração.

E' o seguinte o conteudo do artigo:

"O Imperio Japonez, cuja directriz fundamental é a protecção dos interesses estrangeiros, não cogitará em attender da melhor forma possivel, as exigencias britannicas, uma vez que estas sejam justas e de accordo com os objectivos imperiaes. No entanto, a maioria dos protestos apresentados pela Gran-Bretanha, referem-se á restauração dos seus direitos e concessão de previlegios nos locaes que actualmente constituem campos de operações militares.

O conflicto nippo-chinez, prosegue ainda, como é facil comprehender, activamente em todos os sectores e nessas condições, todas as posições nacionalistas, agora occupadas pelas tropas imperiaes, deverão continuar sob o controle dos poderes imperiaes, não só para a bôa direcção das operações militares como e principalmente para alcançar o ultimo objectivo dos actuaes acontecimentos que é a destruição completa do governo nacionalista chinez, chefiado por Chang-Kai-Chek. Para a satisfação das exigencias britannicas, ha uma condição anterior que é a pacificação geral da China e isso só pode provir do anniquilamento do poderio de Chang. Se a Inglaterra imiscuir-se nos verdadeiros e primeiros fundamentos do actual conflicto e os estudar sem espirito preconcebido e com imparcialidade, chegará forçosamente á mesma conclusão sustentada pelo Japão.

Se, consciente ou inconscientemente desses factos primordiaes, não o sabemos, mas a verdade é que a Inglaterra veio seguindo até estes dias um plano de ostensivo auxilio ás forças nacionalistas. E esse modo de proceder da Gran-Bretanha contribuiu grandemente para o retardamento da paz asiatica.

Se neste momento em que veio á baila a questão nippo-britannica, a Inglaterra não consegue a sua solução com a rapidez devida, é porque ella, precipitada demais na acquisição dos seus interesses, tornou bastante delicadas suas relações com o paiz do qual devia ser a maior amiga, auxiliando um governo vil, que de maneira alguma era merecedor de qualquer auxilio. O que importa mais neste momento é que a Gran-Bretanha, reflectindo-se bem na verdadeira situação do Oriente Asiatico, deixe de auxiliar o governo nacionalista chinez".

O proseguimento do Congresso Florestal e Agricola

O incremento da industria animal

Tokio, 16 — Domei — Realizou-se hoje a quarta conferencia do congresso agricola e florestal. Nessa reunião o chefe do departamento da pecuaria do ministerio da Agricultura e Florestas, sr. Kishi apresentou um projecto de lei de incremento da industria pecuaria tendo dado a seguinte explicação:

1.° — Visando o consumo interno e a exportação, está-se estudando um projecto de leis que estabelece um plano quinquenal de pecuaria devendo esta lei entrar em vigôr no proximo anno.

2.° — Para controlar o commercio exterior entre o Japão, China e Mandchuria, deverá ser fundada futuramente uma liga ou companhia.

Quanto aos pontos principaes do projecto em questão sabe-se:

1.° — Para conseguir-se o auto-abastecimento da carne e do couro do gado bovino, augmentar o numero desse gado para 2.600.000 cabeças, sendo o numero actual de 1.800.000.

2.° — Para o auto-abastecimento da lã, seguir o plano quinquennal de incremento de sua producção, estabelecido na Mandchuria e augmentar para 150.000 o numero desse gado.

3.° — Para conseguir-se não só o auto abastecimento mas a exportação em grande escala, augmentar para 7 bilhões de caixas a producção de ovos que actualmente attinge a 6 bilhões de caixas.

4.° — Augmentar tambem em grande escala a creação de lebres, gado suino, etc.

5.° — Para conseguir-se tudo o que acima foi referido, a Mandchuria cooperará fornecendo ao Japão o necessario material.

Para evitar conflictos de fronteira

O embaixador Shiguemitsu propõe a creação de uma commissão

Moscow, 21 — Domei — O sr. Shiguemitsu, embaixador do Nippon junto ao governo sovietico, visitou hoje o commissario do Povo para os negocios Estrangeiros, apresentando a proposta da creação de uma commissão encarregada da demarcação definitiva dos limites afim de evitar os incidentes de fronteira.

Foram discutidos varios aspectos do assumpto.

A conferencia não chegou ao termo final, por haver divergencias sobre a escolha dos elementos fornecidos para o estudo e discussão.

E' esperado o proseguimento de entrevistas com o objectivo de levar avante a proposta do embaixador Shiguemitsu.

ESPORTES

Competição athletica nippo-chino-mandchú

Tokio, 23 — Domei — Com a desistencia do Japão para patrocinar a realização da 12a. Olympiada em Tokio, a Federação dos Amadores de Athletismo pretendia de ha muito a realização de uma competição em grandes proporções em que deveriam tomar parte os paizes vizinhos, ou seja, a China a Mandchuria e o Japão.

Consta que na ultima reunião dessa federação foi acceita esta proposta. Sabe-se ainda que o sr. Kimura, presidente actual dessa federação fará no mez de setembro uma viagem ás regiões da China e Mandchuria, devendo por essa occasião consultar os circulos esportivos daquellas regiões.

Esse acontecimento esportivo deverá realizar-se, segundo opiniões accceitaveis no mez de abril ou junho do anno proximo vindouro.

Tokio, 22 — Domei — No campeonato japonez de natação que se realiza na piscina de Kôshien, o nadador Shigueo Arai estabeleceu nos 200 metros nado livre um novo resultado que é superior ao recorde mundial.

O tempo do novo recordista é de 2'16"6.

Atiraram uma garrafa vasia na residencia do vice-consul nipponico de Hong-Kong

Hong-Kong, 21 - Domei — No dia 19 do corrente, um desconhecido atirou uma garrafa vasia na residencia do sr. Hayasaki, vice-consul do Japão nesta cidade. Felizmente não houve prejuizos pessoaes nem materiaes, mas tratando-se da primeira occorrencia desta natureza, o governo de Hong-Kong guardou sigilo absoluto sobre o caso e iniciou uma rigorosa investigação para descobrir o criminoso.

O chefe de policia publicou hoje o seguinte communicado:

"As autoridades policiaes iniciaram, immediatamente após o attentado, a procura do criminoso.

Confirmou-se que o auctor da criminosa acção é um estudante chinez que veiu nas proximidades da residencia do vice-consul nipponico, mas ainda não foi preso.

A policia tomou todas as providencias no sentido de evitar a repetição de casos desta natureza".

O Japão que eu gosto

Por Claude Farrère

3

Doce vida e morte violenta

"Osaka, — dizia-me um japonez, — não é uma cidade. E' uma grande reunião de aldeias com uma grande rua que a atravessa de Norte a Sul. Eis tudo".

E' verdade, em parte. Em primeiro logar, as aldeias reunidas são realmente vastas e populosas, quasi tão populosas como Paris. Em seguida, Osaka, construida sobre o delta de diversos rios que se cruzam, possue mais canaes e pontes do que Veneza, e pontes e canaes são pretextos para construir edificios e mais edificios. Emfim o coração industrial do Nippon está situado em Osaka. Ao redor della só se vêm chaminés de fabricas. O algodão de Osaka, a seda de Osaka, são celebres. Celebres tambem certos theatros de Osaka, e particularmente o de marionnettes nipponicos, os mais extraordinarios do mundo inteiro, os unicos que eu penso dar ao publico uma tal illusão de vida, da vida interior e profunda, da vida dolorosa, grotesca ou amorosa, que os "montreurs" podem andar á vontade em plena scena, sem que ninguem veja outra coisa a não ser os proprios marionnettes, mais prodigiosamente expressivos que qualquer actor de carne e osso.

***

Agora, Kobe, antes ou depois de Yokohama, é o maior porto commercial do Nippon.

Não dista senão 659 kilometros de Shimonoseki. E a estrada de ferro que liga as duas cidades, costeando as maravilhosas paisagens do Mar Interior, é a mais bella do Japão.

Espressos, menos rapidos que os nossos, mas mais confortaveis, percorrem-na, sem cessar, tanto de dia como de noite.

O Mar Interior, não obstante o crescimento evidente de suas cidades, conserva uma paisagem immutavel, uma das mais variadas e seductoras que conheço. Ora é uma Côte d'Azur, ora uma cornija basca. E, por toda parte, a encantadora mistura de pinheiros, bambús, arvores de chá, de arrosaes, etc. O conjuncto é muitas vezes desconcertante e sempre harmonioso. E as cidades e aldeias cobertas de telhas cinzentas e brilhantes que o sol tinge de um doirado puro, lembram, melhor do que tudo o mais, o Nippon mais tradiccional, com seus templos, seus "tcha-yas", suas casas de madeira e papel, a sua extrema doçura, apenas quebrada aqui e acolá, de imprevisto, por um sabre que lecepa uma cabeça ou corta um ventre.

Em todos os tempos, este povo ama a vida e se lança, sem hesitar, á morte.

Viagem magnifica

A noite cahe, agora. Passamos Kure, a Toulon nipponica, passamos Hiroshima. Ube e Ozuki. As luzes que surgem por toda parte são de Shimonoseki. O trem, pára, exactamente no segundo preciso, sobre o caes, onde se acha ancorado o paquete que vae para a Coréa. O paquete vae de Shimonoseki á Coréa, vencendo cem milhas marinhas, de um mar que nem sempre é manso. De facto, é o logar da batalha de Tsushima que vamos atravessar.

Interessante.

Oito horas na travessia. Mas no Nippon, ninguem nos proporia oito horas de viagem, sem nos offerecer, de inicio, um banho quente, uma chicara de chá, depois um kimono limpo e passado. Um viajante honrado não se deita sem se lavar, e não dorme senão em lençol fresco. Não se discute mais esta evidente verdade: que o Nippon é mais limpo que a Europa logo, do que a America...

(Continua)

Solucionado o incidente nippo-britannico

referente ao acto de desrespeito á bandeira nipponica de um marinheiro inglez

Tokio, 22 — Domei — Telegrammas de Tsing-tao informam que quanto ao acto de desrespeito á bandeira japoneza praticado por um marinheiro inglez, as autoridades competentes levaram a effeito rigorosas investigações para a averiguação da culpabilidade desse incidente.

No entanto, consta que as autoridades britannicas reconheceram a culpalibidade do seu subdito e apresentaram ao consul geral, sr. Owashi, um documento official pedindo desculpas.

A mesma attitude foi demonstrada pelo almirante Noble commandante da frota naval ingleza.

Consta ainda do mesmo despacho telegraphico que os poderes japonezes attenderam ao pedido inglez, advertindo as autoridades britannicas no sentido de evitarem doravante, factos semelhantes.

Impressos?
Procure:
TYP. "NIPPAK"
Caixa Postal, 375

戰火に立つ (1)

海野啓一

大山中尉の悲報

出帆時刻を告げる二度目のドラが、人の心をかきむしる樣な重ぐるしさで鳴り渡ると見送りの人々は、心忙しく舷梯を降り始めた。

空はカラリと晴れて、長崎丸、上海丸の二隻の巨體を橫へた長崎港大波止場は、微風のそよぎこそあれ、燒けつく樣な暑さである。

慌しく荷物を揚げ下しするデリックの上を越へて、煙突から立昇る黒煙は、まつしぐらに大空高く吐息をついて出帆旗を空ざまにはためかしてゐる。見送り客がドヤ／＼降りて來た埠頭の舷梯から、入れ替りに私は長崎丸の一等船室に入つて行つた。

トランクから手廻りの品を出して整理してゐると、旅館の主人が突然入つて來た。

「大變な事が起りましたよ。」

彼はかう叫んで、私に一枚の號外を渡した。

大山中尉、齋藤水兵、支那正規兵に慘殺さる。

と言ふ見出しがハタと私の胸を突いた。

佛蘭西租界西方越界路モ＝ユメント路上――

はてモ＝ュメント路、そんなところがあつたかなあ……私は四年前陸戰隊の幕僚をしてゐた頃の記憶をたん念に辿つたが出て來なかつた。波止場で買つた六十錢の上海案內圖には勿論出て居ない。しかしそれが陸戰隊西部警備地區である事は凡そ想像が出來たと同時に私の腦裡をさつと走つたのは、こりあ大事件が持ち上るぞ、と言ふ豫感であつた。東京を立つ時、長江方面の情勢が相當逼迫してゐる事は勿論認められた。之が爲に日本は長江に手を染めて以來始めての居留民引揚を斷行したのである。これ等の引揚民は八月九日前後に上海迄下江する豫定で私の今度の上海出張の任務もこの引揚民狀況視察が主なるものであつた。

風雲險惡

「戰爭になりますか。」

旅館の主人は、私の顏を覗き込む樣にして尋ねた。

「さあねえ、日本はどこ迄も事件不擴大の方針ですから……」

私の答はこれ以上に出で得なかつた。

勿論號外の記事も事件の發生を簡單に數行傳へたのみで其の推移や我方の態度については全く觸れてなかつたのである。

上海に對して利害關係の多い宿屋の主人は、豫期した返事を私から得られないと判ると

「では御大事に行つておいでなさい」

と挨拶すると共に睨されんとする舷梯を早く早くとせき立てられながら驅け下りて、埠頭の上に立つともう一遍ぐるりとこちらを向いて、禿頭を石手で撫でながらお辭儀をした。

「ありがたう、歸りには都合次第で御邪魔をするよ。」

「へいどうぞ、N武官にくれぐれも宜敷。」

言ひ殘して稅關官吏が立つてゐる檢視所の中に姿を消した。これで長崎との交涉は全く終つた。否――事件がこれから發展するとすれば、或は日本の土を踏むのもこれ限りかもしれん。

一瞬の感慨が私の腦裡を掠めた。征旅三度！第一回は西比利亞出兵當時測量艦大和の航海士として樺太に行つた二度目は加賀の副砲長として前の上海事變に行つた。

相當危かしい瀨戶際迄行つても、兎も角も無事であつたこの身も、今度は始まつたら唯ぢや濟まんぞと言ふ豫感が胸の中に一種の冷かな覺悟を促して來た。

私はもう一ぺん長崎を見て置くかな、と獨ごちつゝ甲板の遊步デッキへ步いて行つた水々しい南國の植木鉢がズラリと並んで、其の間に四角な藤椅子が十脚あまり並べられ、外人の年頃の娘と、七八歲の幼女とが戯れてゐた。

「あのう、切符は戴きましでせうか。」

ボーイが近寄つて來て尋ねた。

「さう／＼、Aの7だよ。」

私はポケットから出して渡した。

「私が室ボーイの松村です、何卒よろしく。」

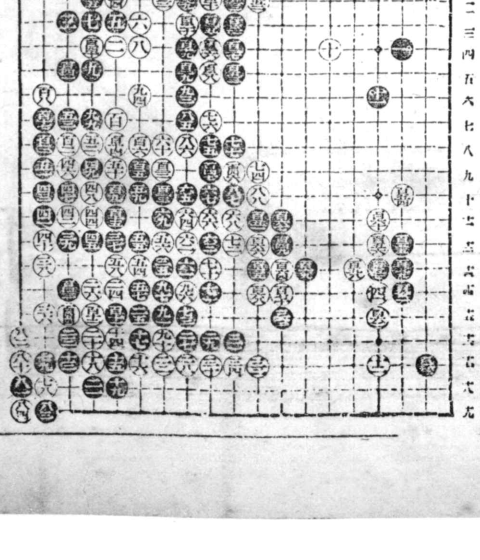
「あゝ願ひます」

長崎上海間の幾度もの航路に慣れきつてゐるボーイは快活さうに會釋した。

本社特選 (其十三)

先番 丸山初段
橋本三段

●一五五はノ十三
○一五六にノ十三
●一五七にノ十二
○一五八ほノ十三
●一五九はノ十四
○一六〇にノ十一
●一六一はノ十四
○一六二にノ十四
●一五三ろノ七
○一六四ちノ十二
●一六五りノ十三
○一六六りノ十三
●一六七ちノ十一
○一六八りノ十四
●一六九とノ十五
○一七〇ちノ十四



(13) [illegible]曰く、百六十一[illegible]

急募
植字
詳細面談左記へ
日伯新聞社

時代の要求する経済的な
アポロインキ粉末

電話二－四八八六
アリエル
材料
千田